

大いに語ろう！あの時を。



第44号



平成25年 3月 5日

雛松会

大阪教育大学
附属天王寺小学校
〒545-0053
大阪市阿倍野区松崎町
1丁目2-45
TEL. 06(6621)0123

<主な記事>

- ◆第34回雛松会総会のご案内……………1面
- ◆名誉会長・会長挨拶……………2面
- ◆附小NOW……………3面
- ◆転出された先生方……………4面
- ◆同期会報告……………5面
- ◆同窓生の活躍……………6面
- ◆近況報告エトセトラ……………7面
- ◆年会費納入者一覧……………8面



「ひなまつひろば」を開放

4月6日当日、総会・懇親会に先駆けまして、午後2時から3時の間、母校校庭および「ひなまつひろば」を開放します。

校門を入ったところで、雛松会会員である旨を伝えて頂けたら、後は自由にご散策ください。

「ひなまつひろば」では雛松会幹事による記念集合写真撮影コーナーもご用意しておりますので、ぜひご利用ください。(ご希望の方には実費にてご提供いたします。)

記念撮影コーナーを用意しています。



ひなまつひろばでの集い 2013年4月6日

見本

「雛松会総会・懇親会」となります。懇親会では、「思い出の品コーナー」を設けます。附小での思い出の品をお持ちの方は、当日ぜひご持参ください。

童心に帰っての一日。ご友人とお誘い合わせて、ぜひ「雛松会総会・懇親会」にご出席ください。



大盛況！



同期会も

写真は130周年記念総会時のスナップ

第34回雛松会総会

★平成17年までに卒業の方

日時 平成25年4月6日(土)
PM3:30~6:00 (PM3:00~受付)

場所 天王寺都ホテル 6階吉野の間

〒545-0053 大阪市阿倍野区松崎町1-2-8 TEL 06-6628-3200
■JR天王寺駅東口正面、地下鉄天王寺駅・近鉄大阪阿倍野橋駅直結

内容 ◎議事(挨拶ほか) ◎乾杯 ◎懇親 ◎アトラクション
会費 6,000円

※同封の出欠返信はがきで3月26日までに返信ください。
お問い合わせやご出欠の返信は雛松会ホームページ上でも受付けております。
<http://www.hinamatsu.com/>

懇親会

ジュニア会

★平成18年卒~平成25年卒の人

日時 平成25年3月25日(月)
AM10:00~12:00

場所 母校(附属天王寺小学校)

内容

- ◎議事
 - ◎アトラクション
 - ◎年次毎の同窓会
- 恩師や友人とのなつかしいお話、運動場でのスポーツ、楽しいお店も開きます。

第34回総会でお会いしましょう。



雑松会名誉会長
大阪教育大学
附属天王寺小学校校長
水野 恵司

学校周辺の景観変遷

私の手元に、大学の地理学図書館所蔵の1951年測量修正、国土地理院一万分の地形図「大阪南部」がある。そこには本校が1953年に現在地に移転する直前の様子が描かれ、校舎予定地は空き地で樹木が描かれている。その後現在まで、日本の大きな社会経済変化に伴い、天王寺、阿倍野橋駅周辺は大きな景観変貌を見せた。その景観変化を見ることで、雑松会会員諸氏がそれぞれの時代を

思い出していただければ幸いです。

1950年代は第二次世界大戦後の復興から朝鮮戦争特需期にあった。近鉄阿倍野橋駅から小学校までの

病院があった。1960年代は高度経済成長期の真っ只中である。

1970年代は大阪万国博覧会が開催された。小学校前

1990年代以降は、87年の国鉄民営化の影響で、天王寺駅周辺に広い土地を

以上述べたように本校建設後約60年間で周辺地域は大阪の都市機能の中心地として発展し続けてきた、さらに2014年春にはあべのハルカスが完成する。

あびこ筋には近鉄百貨店、旅館新館、国鉄天王寺鉄道管理局が見られるが、多くは木造低層の建物が並んでいた。天王寺駅も2層の木造旧駅舎であった。7層ビルの近鉄百貨店のみが他を圧する高層ビルであり、これを中心に、阿倍野橋周辺

には、当時の娯楽の中心で、ある映画館として近映会館、アポロ会館、阿倍野劇場等が林立し、飲食店、ホテルも多く、多くの人で賑わった。現在阿倍野区を南北に貫く幹線道路としてあびこ筋はまだ、昭和町までしか伸びていない。地下鉄御堂筋線も52年まで昭和町までであった。現在本校前を東に関西本線沿いに走る幹線道路はまだない。小学校の東向いには、あびこ筋を挟んで白外壁4層の旧鉄道

は、当時の娯楽の中心で、ある映画館として近映会館、アポロ会館、阿倍野劇場等が林立し、飲食店、ホテルも多く、多くの人で賑わった。現在阿倍野区を南北に貫く幹線道路としてあびこ筋はまだ、昭和町までしか伸びていない。地下鉄御堂筋線も52年まで昭和町までであった。現在本校前を東に関西本線沿いに走る幹線道路はまだない。小学校の東向いには、あびこ筋を挟んで白外壁4層の旧鉄道

は、当時の娯楽の中心で、ある映画館として近映会館、アポロ会館、阿倍野劇場等が林立し、飲食店、ホテルも多く、多くの人で賑わった。現在阿倍野区を南北に貫く幹線道路としてあびこ筋はまだ、昭和町までしか伸びていない。地下鉄御堂筋線も52年まで昭和町までであった。現在本校前を東に関西本線沿いに走る幹線道路はまだない。小学校の東向いには、あびこ筋を挟んで白外壁4層の旧鉄道

は、当時の娯楽の中心で、ある映画館として近映会館、アポロ会館、阿倍野劇場等が林立し、飲食店、ホテルも多く、多くの人で賑わった。現在阿倍野区を南北に貫く幹線道路としてあびこ筋はまだ、昭和町までしか伸びていない。地下鉄御堂筋線も52年まで昭和町までであった。現在本校前を東に関西本線沿いに走る幹線道路はまだない。小学校の東向いには、あびこ筋を挟んで白外壁4層の旧鉄道

は、当時の娯楽の中心で、ある映画館として近映会館、アポロ会館、阿倍野劇場等が林立し、飲食店、ホテルも多く、多くの人で賑わった。現在阿倍野区を南北に貫く幹線道路としてあびこ筋はまだ、昭和町までしか伸びていない。地下鉄御堂筋線も52年まで昭和町までであった。現在本校前を東に関西本線沿いに走る幹線道路はまだない。小学校の東向いには、あびこ筋を挟んで白外壁4層の旧鉄道

は、当時の娯楽の中心で、ある映画館として近映会館、アポロ会館、阿倍野劇場等が林立し、飲食店、ホテルも多く、多くの人で賑わった。現在阿倍野区を南北に貫く幹線道路としてあびこ筋はまだ、昭和町までしか伸びていない。地下鉄御堂筋線も52年まで昭和町までであった。現在本校前を東に関西本線沿いに走る幹線道路はまだない。小学校の東向いには、あびこ筋を挟んで白外壁4層の旧鉄道



雑松会会長
(昭和36年卒)
西川 雅夫

よく学び、よく遊ぶ

雑松会も本年度で創立136年を迎えます。明治10年7月(1877年)に大阪府師範学校附属演習小学校として創立され、今日に至るまで11,000名を超える卒業生を送り出して参りました。これからも、歴史と伝統に培われた気品と個性豊かな活動力、時代を生き抜くコミュニケーション力を携えた雑松会一団様が更に結束を固め、世界に向けてグローバルに、次世代に渡り永く活躍されますことを期待申し上げます。

昨年から本年にかけて日本の安部晋三、米国のバラク・オバマ、中国の習近平、韓国の朴槿恵、シンガポールのトニー・タンと、世界各国の首脳が変わり、本年は新たな時代の兆候が見え始めました。また、昨年9月より中国との尖閣列島の問題に端を発し、更には竹島・北方領土問題等、多くの問題を抱えております。

昨年4月より、小学校高学年において英語の授業が取り入れられ、大阪市より小学校6年生で英検3級取得という指針が出されております。本年より始まったNHK大河ドラマの「八重の桜」で、「ならぬことはならぬ」のフレーズが大変有名になりましたが、今の教育に求められているのは、我々日本人にありがちな淡い期待感を払拭することで

はないかと思えます。物事は実際に行き、来て、やってみないと分からないことがたくさんあり、何でも積極的にトライしてみるといいのでしょうか。

ゆとり教育から一転して、世界の標準にいち早く近づくには、今教育現場で注目されているクリティカルシンキング(批判的思考)が大切だと思えます。この考え方が、最近多くの授業に取り入れられ、これまでとは違う学力、すなわちこれ

から社会で生き抜いていく力を育てようという教育方針があります。「日本の子どもは論理的に考え、根拠を示して伝えるのが苦手」と一般に言われておりますが、グローバル化が進む中で教育関係者が最も考えなければならぬことは、このクリティカルシンキングであります。なぜかと問うてみると、今の子ども達に必要というのが、先般出版致しました私の拙著「なんでやねん」にも書き記しましたとおり、常に現状を客観的に捉え、論理的に考えていく力をつける教育が求められていると思えます。

そのことが、根拠に基づいた言動ができる子どもを育てる教育に通ずるものだと確信致します。

昨年のトピックスと言え、大阪教育大学附属天王寺中学・高校を卒業された

門学校校舎が新築移された。さらに2000年には、大阪鉄道病院が現在地に新築されている。また、小学校の近鉄線路を挟んだ南にある40層のシティタワーラン天王寺も旧国鉄宿舎跡地に07年に建設されたものである。

雑松会も本年度で創立136年を迎えます。明治10年7月(1877年)に大阪府師範学校附属演習小学校として創立され、今日に至るまで11,000名を超える卒業生を送り出して参りました。これからも、歴史と伝統に培われた気品と個性豊かな活動力、時代を生き抜くコミュニケーション力を携えた雑松会一団様が更に結束を固め、世界に向けてグローバルに、次世代に渡り永く活躍されますことを期待申し上げます。

昨年から本年にかけて日本の安部晋三、米国のバラク・オバマ、中国の習近平、韓国の朴槿恵、シンガポールのトニー・タンと、世界各国の首脳が変わり、本年は新たな時代の兆候が見え始めました。また、昨年9月より中国との尖閣列島の問題に端を発し、更には竹島・北方領土問題等、多くの問題を抱えております。

昨年4月より、小学校高学年において英語の授業が取り入れられ、大阪市より小学校6年生で英検3級取得という指針が出されております。本年より始まったNHK大河ドラマの「八重の桜」で、「ならぬことはならぬ」のフレーズが大変有名になりましたが、今の教育に求められているのは、我々日本人にありがちな淡い期待感を払拭することで

はないかと思えます。物事は実際に行き、来て、やってみないと分からないことがたくさんあり、何でも積極的にトライしてみるといいのでしょうか。

ゆとり教育から一転して、世界の標準にいち早く近づくには、今教育現場で注目されているクリティカルシンキング(批判的思考)が大切だと思えます。この考え方が、最近多くの授業に取り入れられ、これまでとは違う学力、すなわちこれ

から社会で生き抜いていく力を育てようという教育方針があります。「日本の子どもは論理的に考え、根拠を示して伝えるのが苦手」と一般に言われておりますが、グローバル化が進む中で教育関係者が最も考えなければならぬことは、このクリティカルシンキングであります。なぜかと問うてみると、今の子ども達に必要というのが、先般出版致しました私の拙著「なんでやねん」にも書き記しましたとおり、常に現状を客観的に捉え、論理的に考えていく力をつける教育が求められていると思えます。

そのことが、根拠に基づいた言動ができる子どもを育てる教育に通ずるものだと確信致します。

昨年のトピックスと言え、大阪教育大学附属天王寺中学・高校を卒業された

門学校校舎が新築移された。さらに2000年には、大阪鉄道病院が現在地に新築されている。また、小学校の近鉄線路を挟んだ南にある40層のシティタワーラン天王寺も旧国鉄宿舎跡地に07年に建設されたものである。

132期卒業生記念品

知識は「読書で」クリスタルグローブブックマーク

雑松会では、毎年卒業生に記念品を贈呈していますが、本年度132期卒業生には、写真の「クリスタルグローブブックマーク」を贈ることになり、3月15日の卒業式当日に、卒業生全員に渡されます。



雑松会ホームページ

<http://www.hinamatsu.com/>

総会・懇親会の案内や雑松会の歩み、役員と各期幹事、会費・協賛金の案内、そして会報のバックナンバーもご覧いただけます。是非「お気に入り」に入れて、時々雑松会のことを思い出して下さい!





多田和彦 先生
〈体育科〉
〔平成10年4月～平成24年3月〕
藤井寺市立藤井寺南小学校へ転出

ひとすじ

私は、平成10年から平成24年までの14年間、大阪教育大学附属天王寺小学校でお世話になりました。その間、1年生3回、2年生4回、3年生3回、5年生2回、6年生2回と、常に学級担任をさせて頂くことができました。公立小学校ではなかなか受け持つことができない低学年の担任を、10回もすることができました。また、高学年の学年主任を2度も経験させて頂くことができました。

初めの頃は、子どもたちに対する接し方や言葉遣いにも苦労しました。(なんでもわかれへのよろこび)

(何から始めて、どこまでできるよじらえんやうか)

と、毎日、毎時間が試行錯誤の連続でした。そんな時に、いつでも目標となつて下さったのが、先輩の先生方と保護者の皆様でした。教科指導研究という共通の土俵になれば、国語科、算数科、図画工作科、道徳といった各教科等の枠組みを超えて教えて頂くことができました。授業の作り方、子どもたちの発言や行動のとなえ方、言葉かけの仕方、黒板の使い方、プリントやテストの作り方に至るまで、本当に広く深く学ぶことができました。また、学級集会や学年集会、個人懇談、毎日の連絡帳や季節のあいさつを通して、保護者の皆様から学校や担任がどれほど期待されているか、そして、子どもたちをどれほど深く愛しているのかという事に気づくことができました。本当にありがとうございました。

私は、体育科の授業研究を赴任前から現在に至るまで、一貫して続けています。今後もそれは一生変わることはないと思っています。しかし、附属天王寺小学校で関わらせて頂いた、臨海学舎、運動会、スキー教室という体育行事の運営や指導については、他の学校では経験できない貴重な体験だったと今更ながら感じています。子どもたちの活動内容にしても、仕上がりや身につける技能の高さにしても、行事を通して深まる絆の強さにしても、それを取り上げても、他の学校ではなかなか行き着かないと30年ほどたどり着いていないことに130年を超える伝統の重さを実感の深さを感じていました。だからこそ、本校を卒業した難松会の同窓生の方々が、世代を超えて繋がっているのだとも感じています。

(こ)数年、成人式の日には毎年、これまで担任してきた卒業生から同窓会をかねて成人の集いを開いてもらっています。偶然ですが、毎年担任してきた子どもたちが連続で成人していきます。夢に向かって順調に進んでいる卒業生もいれば、道半ばでもがき苦しんでいる卒業生もあります。しかし、附属天王寺小学校の卒業生として顔を合わせれば、すべしうちと昔の笑顔に戻ります。難松会の皆さんにはいつまでも戻ってほしいとお願い、大阪教育大学附属天王寺小学校があります。これからは、誇りを胸に前進して欲しいと願っています。

最後になりましたが、大阪教育大学附属天王寺小学校と難松会の益々の発展と、皆様のご多幸をお祈り申し上げます。



中野貴之 先生
〈図画工作科〉
〔平成14年4月～平成24年3月〕
堺市立野田小学校へ転出

10年間ありがとうございました。

私は、平成14年から平成24年までの10年間、この附属天王寺小学校でお世話になりました。思えばあつと10年間に過ぎた10年間でした。しかし、この間に学んだことは数えきれないくらいたくさんあります。

附属天王寺小学校に勤務して思い出に残っているのは、様々な行事です。臨海学舎、林間学舎、運動会、学芸会など他の学校では、これらの行事をなくしてしまったり、縮小したりして行っていることがあります。が、附属天王寺小学校では、これらの行事を大切にしています。教師と子どもたちが丸くなって、準備や練習を行い、本番ではとても素晴らしい行事になりました。一番印象に残っているのは、完成するまでの過程をとても大切にしていることです。本番だけうまくいけばいいということではなく、そこに至るまでの練習や努力をしつかりとさせようということなのです。地道な積み重ねこそが一番大切だということを学校行事を通して気づかせていただきました。そのことを今でも大切に子どもたち向き合っています。

附属天王寺小学校に在動中は主に図画工作を研究教科としていました。子どもたちが表現することの喜びを味わうことのできるような図画工作について、同じ図画工作部の先生方と遅くまで意見をかわしたり、一緒に題材を考えたり、授業の準備をしたりしたことを思い出します。みなさん図画工作にも子どもにも熱い思いをもっておられる方々なので、時折話し合いがヒートアップすることもありました。一つの教科についてこれだけ熱く話したり、研究を深めていくことは、とても貴重な経験でした。このような経験をさせていただいた附属天王寺小学校にとっても感謝しております。

また、「難松会」の担当を2年ほどさせていただきました。難松会の幹事の方々とお話しさせていただく中で、卒業生の方々の固い絆で繋がっていることや昔から今に至る附属天王寺小学校のよき伝統のことで、改めて附属天王寺小学校の素晴らしさを感じました。

このような貴重な経験をさせていただくことができたのは、附属天王寺小学校の教職員の皆様、出会ったたくさんの子どもたち、保護者の皆様、そして、難松会の皆様がこの10年間いろいろな面で支えていただいたおかげです。これだけたくさんの方々に見守っていただいていたことに大感謝しております。このことを何より大切に、これからの教職人生を前を向いて進んでいきたいと思えます。本当にありがとうございました。最後になりましたが、附属天王寺小学校と難松会の益々の発展と皆様のご多幸を心からお祈り申し上げます。



風間 寛 先生
〈音楽科〉
〔平成15年4月～平成24年3月〕
大阪市立日吉小学校へ転出

私の「宝物」

この度、大阪市立日吉小学校に転任させていただきました。

附属天王寺小学校には9年間、公立校ではできない様々な仕事を体験させていただきました。運動会や学芸会をはじめ林間学舎や臨海学舎、教育実習といった行事、教師同士が切磋琢磨し合う研究、学級集会における熱心な保護者の皆様の熱い眼差し、PTAコーラスクラブや金管バンドクラブ……。実に中身の濃い、充実した9年間であったと思います。なかでも白浜での臨海学舎では、300mや1kmテストの申し出で、涙ながらに自分の思いを訴える子ども達の姿が今でも忘れられません。足の届かない海で1kmを泳ぎ切ることは、言葉で言うのは簡単ですが11、12歳の子にとつては大変なことでしょう。こちらもお子様の大変な命をお預かりしている以上、テストを受けるに当たつての決意が自分の言葉でちゃんと述べられないと、簡単には許可できないのです。そんな独特の、緊迫した雰囲気、自分の考えや思いを、時には涙を浮かべながら伝える子ども達に、ただただ敬意を表するばかりでした。

PTAコーラスクラブにおきましても「指導」とは程遠い私の稚拙な言葉がけに耳を傾けてくださいました。なかなか人数が集まらないときもありましたが、クラブ員の皆様が必死の思いでお声がけくださり、整ったアンサンブルができる人数にまで成長しました。それが現在の充実した活動につながっていると思います。

そして、教師の最も重要な仕事は「授業」です。公立校でも10年間先輩教員に学びつつ、音楽科の授業研究を行い、少しばかりの自信をもって赴任した私は、年度当初の「顔見せ授業」で見事に打ち砕かれました。板書や教師の立ち位置、発問、指示、言葉遣い、授業の流れや落とし所……。会議で矢継ぎ早に質問され、殆ど答えられずいた自分がありました。しかしこの経験が、今の自分の出発点にもなりました。

大阪市の公立学校は今、激動の中にあります。土曜授業や学校ICT化、校長公募制が現在のところ代表的なものでしょう。また大量採用時代を迎え、今の職場にも若い先生が増えつつあります。しかしどのような大きな波が来たとしても、附属天王寺小学校で学ばせていただいた多くのことをもつてすれば必ず乗り越えていくことができるのではと考えております。今年度で教職20年目を迎え、折り返し地点に来ました。以上のような附属天王寺小学校での経験が私自身の「宝物」であります。本当にありがとうございました。



康 貴利 先生
〈算数科〉
〔平成19年4月～平成24年3月〕
大阪市立諏訪小学校へ転出

附小のよき

附属天王寺小学校には平成19年4月から5年間だけですがお世話になりました。難松会の皆様、在職中はお世話になり、ありがとうございました。何か附小に勤務していたのが遠い昔のような感じがします。

現在、大阪市立諏訪小学校で5年生の担任をしております。附小を出てから感じるのは、附小のよきばかりです。私は附小に勤務したときは1年生の担任をさせて頂きました。この最初で、おそらく最後になるかもしれない1年生の担任という仕事は私にとって本当に貴重なものでした。担任した40名の子どもの真剣なまなざしや、優しい笑顔は今も頭の中に残っています。今、しっかりと6年生として、附小を支えているのだらうなと思っております。

実は、この1年目、私は附小が大嫌いでした。いつも心の中には附小をやめたいという思いがありました。まず、毎月ある集会です。話すネタを毎回考えたり、たくさん保護者の皆様を前に話をしたりというのが苦痛でした。「公立なら学期に1回だけなのに」といった愚痴が出ていました。次に、臨海や学芸会といった行事の多さです。50mぐらいしか泳げないのに、1000m泳ぐ練習をしなければならぬ状況に追い込まれたり、重いボートを運んだりといった臨海では、「公立に帰りたい。」と周囲にも話していました。そして、研究です。1年間に4回も研究授業を行ったり、夜遅くまで研究会議を行ったり、百人近くの参会者の前で公開授業を行ったり、1年目でも容赦がありませんでした。

しかし、これらはすべて附小のよきである、今になって感じております。まず、集会ですが、これだけの保護者の皆様が自分の教育方針を聞いてくれるというのは本当に貴重なことなのです。今の学校で4月にあった学級懇談会では、参加した保護者の方が2人だけでした。伝えたいのに伝えられないというのは、もっと苦痛であったのです。次に、たくさん行事、子どもは行事で大きく成長していくのだと感じております。行事を経験することで、友だちと協力したり、我慢することを覚えたり、達成した喜びを感じることができるようになります。そして、研究、これは自分を大きく成長させてくれました。自分の授業を見てくれて、あれこれ批判してくれるという機会はあまりありません。これら附小で学んだことは今、自分にとっての大きな自信につながっております。

たった5年間ですが、この附小で勤務できたことを感謝しております。また在職中、常に温かい目で見守ってくれた難松会の皆様にも感謝しております。今後も、伝統とも言えるこの附小のよきを守り続けていけたらなと思っております。

転出された先生方

長い間お世話になりました

同期会フラッシュ



石谷(島崎)隆子
(昭和38年卒)

私達82期生(昭和38年卒)は平成23年9月4日に2年ぶりの同窓会を天王寺都ホテルで開催しました。

今回は、ひと味違う想いがあるのです。皆さんが、還暦を迎えたのです。26名の出席となりました。

仕事をリタイヤして悠々の人、現役の人、趣味に第2の人生を謳歌している人、と皆さん、元気にMr. Mr.を歩んでいるように見えました。

辻本先生、宝宗先生、

酒井(和)先生を囲んで附小時代の思い出話に尽きませんでした。

二次会もホテルのラウンジで、夜景を楽しみながら語りました。

「天王寺の夜景もこんなにきれいなのだ!!」と感激した次第でした。

次回も元気で集まりましょう!!

幹事は2組にお願ひしました。大西様よろしくお願ひします。

文責 石谷 隆子
幹事(旧6年1組)
谷本慎介・辻本和生・桜木仁孝・石谷(島崎)隆子



※紙面の都合により今号での掲載となりました。

櫻井忠孝・山内志津子
(昭和54年卒)

2012年12月15日、初めての試みとして、小学校・中学校・高校の12年間合同の同窓会&忘年会を開催しました。

当日は土砂降りの雨にもかかわらず、ミニミの居酒屋会場には、23名の同級生が集まってくれました。

残念ながら先生方のご参加はありませんでしたが、小学校卒業以来34年ぶりに見る顔ぶれや、高校

初の試み、小・中・高合同同窓会

卒業以来28年ぶりの同級生がいたり、皆いおっさん・おばはんになっていましたが、どこかに昔の面影があり、それぞれに名前と顔を確認して、楽しい昔話を花を咲かせていました。

「小中高合同同窓会ええな〜。」という事で、次回ももっと盛大に開催したいと思ひます。

雛松会の会報を見られた昭和54年卒業(98期生)の皆さん、ご連絡下さい。よろしくお願ひします。



114期同窓会報告

小幡祐子 (平成7年卒)

去る平成23年の夏、114期生東京在住グループにより「三十路手前の29歳」にかけて「手前みそ会」たる同窓会を東京で開催されたとの事。

それでは30歳の記念すべき会は故郷大阪で開こうではないか!という訳で、平成24年12月30日(日)梅田第三ビル二階に「大みそ会」を開催しました。

木さん・野村さん。子供達が会場を明るくしてくれました。同級生が子供を産むっていうのは感慨深いですね。目じりが下がりはなしてました。

後半には誰が1位に



facebookを利用した連絡網により小中高合同で総勢72名(内小学校卒業生36名)の参加となりました。それぞれ卒業以来の再会を懐かしみ、これまでの時間を埋め合うかのようにお互いの近況報告に花を咲かせました。

会場には林間学校や卒業旅行の集合写真や低学年の頃のスナップ写真を張り出し、卒業アルバムのコピーを持ち込んでいたので写真と見比べてのピフォーアフター話が盛り上がりました!

みんないい意味で変わったし変わってないね。昔も今もいい笑顔だよ。

昼間の開催とあつて子連れで参加してくれたのは馬越さん・鈴

なるか予想ゲームをし、当選者には豪華景品のプレゼント。ネクタイ早く締め・ブラジャー早起・コーラ早飲みに出場してくれた方々、盛り上げてくれてありがとう!

3時間はあっという間に過ぎ、記念品のオーダーメイドチロルチョコを手にお開きとなりました。

もっとたくさん皆と話したかったし、もっと参加できなかった人達と再会したいなと思ひました。

今回連絡が行き届かず申し訳ないですが、次回開催の際は前もってこちらの紙面で呼びかけできたらと考えています。来年は「31アイスクリーム会」開催か?との声も上がっていたりもしますし、定期的が集まっていきたいですね。

お知らせ

●同期会を開催される「期」には、雛松会から2万円の同期会開催補助費を支給させて頂きます。つきましては、会報への同期会開催記事と集合写真の出稿と引き換えとなりますので、ご協力のほど宜しくお願いいたします。

雛松会事務局まで雛松会ホームページから又はFAXにてご連絡下さい。(FAX06-6771-6116)



ノーベル賞授賞式後の山中さん、夫妻
山中伸弥さん・知佳さん (94期 昭和50年卒)

祝 ノーベル生理学・医学賞受賞！

山中教授は、さまざまな臓器に変化する能力をもつ人工多能性幹細胞(iPS細胞)を作り出し、自分自身の細胞を使って病気になった組織や臓器を作り直す「再生医療」や創薬の研究分野に大きな可能性を開きました。

山中さんは大阪府出身、大阪教育大学附属天王寺中学校で柔道部所属、生徒会副会長も務め、附中時代の自由研究のレベルの高さは先

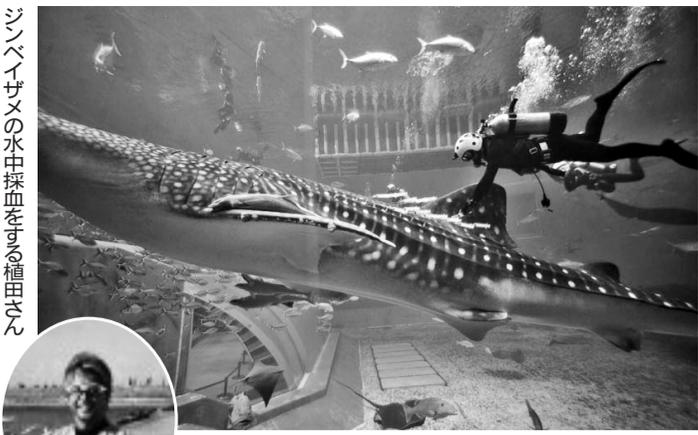
2012年のノーベル生理学・医学賞を京都大学iPS細胞研究所所長の山中伸弥教授が受賞されました。日本人として19人目、生理・医学賞としては25年ぶり2人目の受賞となり、その快挙に日本中が沸き立ちました。10月4日のノーベル賞受賞決定直後や、12月10日のノーベル賞授賞式

日マスコミ報道で有名になりました。附高でも文武両道、柔道部や附高祭で活躍され、何事にも一生懸命に取り組みました。

10月から京都大学教授。2010年4月から京都大学iPS細胞研究所長を務められています。

海洋生物獣医——美ら海の命を守る

植田 啓一さん(100期 昭和56年卒)



ジンベイザメの水中採血をする植田さん

沖縄美ら海水族館には、世界で一番長く飼育されているジンベイザメや、世界で初めて飼育下繁殖に成功したマンタなど700種以上の海洋生物が飼育・展示されています。

獣医師となりました。イルカの人工尾びれ開発やイルカの縫合手術、ジンベイザメ・マンタの麻酔、水中採血を実施、館外でも国内外各所で調査・研究・診察をされています。

がんばってます！ 級友
同窓生の活躍

史上最高齢の受賞 (黒田夏子さん)「a bさん」で話題になった第148回芥川賞で

『肉骨茶(にくこっちゃん)』で第148回芥川賞候補に選出

高尾 長良さん (124期 平成17年卒)

「バーチャルなものが多い世の中で、リアルなものと日々格闘しています。」と語る植田さん。好きな言葉は「無理せず、無茶する」「いけいけドンドン」。

肉骨茶 高尾長良

「肉骨茶(にくこっちゃん)が選出されました。高尾さんは東京都世田谷区生まれの20歳。京都大学医学部在籍中の平成24年10月に「肉骨茶」で第44回新潮新人賞を受賞、芥川賞を受賞すれば平成生まれとして初の受賞となることでした。

何かお尋ねのことがございましたら、下記までご連絡ください。竹本義太夫墓碑修復委員会：NPO法人人形浄瑠璃文楽座 090-2208-6007 久保

竹本義太夫 300回忌追善
竹本義太夫 墓石修復資金 勸進特別公演
合わせて、浄瑠璃界先師 墓石修復資金勸進

墓石修復資金にご協力を

月10日で三百回忌を迎えます。この竹本義太夫は私たちの学域のすぐ近く天王寺堀越町の生まれであり、お墓も近くにあります。

級・友・か・ら・の

近況報告

エ・ト・セ・ト・ラ

昨年寄せられた近況報告の中から掲載しています。年に1度の会報発行ですので、タイムリーに報告出来ないのが残念です。

たシャープ(株)を退職し、自身の会社(株)マイタムを設立しました。

昭和36年卒 柳原 孝史

同期の西川雅夫君が難松会の会長に就任しました。難松会の益々の発展の為に微力ながら出来る限り協力しようと思ひます。

昭和37年卒 榎根 妙(旧姓山田)

大阪教育大とは縁があるのか、現在、大阪教育大二部校(天王寺校)に間借りをしています。放送大学大阪学習センターに通っています。映画が、シニア料金で見られる様になり、うれしいのやら、かなしいのやらという心境の日頃です。

昭和39年卒 大井 岑子(旧姓荒木)

来春の集いに伺えます様折っております。八十路越えを何とか暮すべく、日々を過ごしております。

昭和41年卒 丹羽 弘子

私達の同期会も成田先生のもと、毎年集つていますが、昨年終りとなり少し寂しくなりました。時々、旧友達と会う機会を持ちたいと思つています。

昭和48年卒 宮崎 真紀子(旧姓勇村)

昨年、主人の転勤に伴い福岡に引越してきました。噂通り住みやすい街です。秋田君や鈴木さん(スキ)の近況報告をなつかしく読ませていただきました。

昭和53年卒 永岡 俊哉

平成24年4月に19年間勤めた山口朝日放送を退職し、羽衣国際大学准教授に就任しました。マスクを自指す学生にアナウンスを教えております。

昭和62年卒 藤田 哉(旧姓大塚)

福岡に来て8年。今春小学生になる娘とやんちゃな2才の息子。毎日、ドタバ

タと大変ながらも楽しい日々を送つています。

平成2年卒 木村 当紀子(旧姓乾)

3才と1才の娘達の育児に日々忙しく過つております。小学校の近くを通る度に懐かしい気持ちでいっぱいです。

平成10年卒 栗田 佳奈美(旧姓坂田)

久しぶり。2011年6月11日に結婚して、名字が坂田から栗田に変わりました。今は堺市に住んでいま

平成17年卒 浅岡 美樹

とうとうひなまつジュニア会も卒業です。大学2年に進学し、がんばつております。

平成19年卒 中尾 康太

部活に勉強に頑張つてい

昭和23年卒 古市 涼香

大阪教育大学附属天王寺

平成23年卒 水野 智裕

春めいてまいりましたが、皆様いかがお過ごしですか？元気で中学校へ通つております。ジュニア会でお会いできるのを楽しみにしています。

平成17年卒 中村 仁美

毎年参加させていただいておりました難松ジュニア会も今年で最後かと思つと少々さびしくなります。来年度からは、新成人として総会・懇親会に参加できればうれしいです。

平成11年卒 三木 雅史

難松会130周年おめでとうございます。益々のご発展をお祈りいたします。

平成10年卒 栗田 佳奈美(旧姓坂田)

久しぶり。2011年6月11日に結婚して、名字が坂田から栗田に変わりました。今は堺市に住んでいま

平成17年卒 浅岡 美樹

とうとうひなまつジュニア会も卒業です。大学2年に進学し、がんばつております。

平成19年卒 中尾 康太

部活に勉強に頑張つてい

昭和23年卒 古市 涼香

大阪教育大学附属天王寺

平成23年卒 水野 智裕

春めいてまいりましたが、皆様いかがお過ごしですか？元気で中学校へ通つております。ジュニア会でお会いできるのを楽しみにしています。

平成17年卒 中村 仁美

毎年参加させていただいておりました難松ジュニア会も今年で最後かと思つと少々さびしくなります。来年度からは、新成人として総会・懇親会に参加できればうれしいです。

平成11年卒 三木 雅史

難松会130周年おめでとうございます。益々のご発展をお祈りいたします。

感しています。卒業してからもう20年以上経ちましたが、附小時代の友達とは今でもよく会つています。

平成11年卒 三木 雅史

難松会130周年おめでとうございます。益々のご発展をお祈りいたします。

平成17年卒 浅岡 美樹

とうとうひなまつジュニア会も卒業です。大学2年に進学し、がんばつております。

昭和23年卒 古市 涼香

大阪教育大学附属天王寺

平成23年卒 水野 智裕

春めいてまいりましたが、皆様いかがお過ごしですか？元気で中学校へ通つております。ジュニア会でお会いできるのを楽しみにしています。

平成17年卒 中村 仁美

毎年参加させていただいておりました難松ジュニア会も今年で最後かと思つと少々さびしくなります。来年度からは、新成人として総会・懇親会に参加できればうれしいです。

平成11年卒 三木 雅史

難松会130周年おめでとうございます。益々のご発展をお祈りいたします。

平成17年卒 浅岡 美樹

とうとうひなまつジュニア会も卒業です。大学2年に進学し、がんばつております。

昭和23年卒 古市 涼香

大阪教育大学附属天王寺

平成23年卒 水野 智裕

春めいてまいりましたが、皆様いかがお過ごしですか？元気で中学校へ通つております。ジュニア会でお会いできるのを楽しみにしています。

平成17年卒 中村 仁美

毎年参加させていただいておりました難松ジュニア会も今年で最後かと思つと少々さびしくなります。来年度からは、新成人として総会・懇親会に参加できればうれしいです。

平成11年卒 三木 雅史

難松会130周年おめでとうございます。益々のご発展をお祈りいたします。

平成17年卒 浅岡 美樹

とうとうひなまつジュニア会も卒業です。大学2年に進学し、がんばつております。

昭和23年卒 古市 涼香

大阪教育大学附属天王寺

平成23年卒 水野 智裕

春めいてまいりましたが、皆様いかがお過ごしですか？元気で中学校へ通つております。ジュニア会でお会いできるのを楽しみにしています。

平成17年卒 中村 仁美

毎年参加させていただいておりました難松ジュニア会も今年で最後かと思つと少々さびしくなります。来年度からは、新成人として総会・懇親会に参加できればうれしいです。

難松会元副会長 金森順次郎さんご逝去

難松会元副会長で大阪大学元総長の金森順次郎さん(昭和17年卒)には、平成24年11月13日に逝去されました。物理学の一分野である物性理論の研究において、数多くの業績を上げられ、物性理論における世界の中心の一つとして活躍されました。ご生前のご遺徳を偲び、心よりご冥福をお祈りいたします。



30回難松会で挨拶する金森順次郎氏

追悼

昨年11月に金森君の訃報に接した時は本当に愕然と致しました。といいましますのは、8月に大高のクラス会でお会いし大高同窓会の解散総会で最終締めくくりの立派な講演をされ、そのビデオを用いて元気に報告を下さいました。全く病の気もなく、明るく元気な様子で我々も何時もの活気あふれる金森君だと感じていたからです。小生は附属天王寺小学校・旧制天王寺中学・旧制大阪高校と長くお付き合いをして頂き、大学は大阪大学と京都大学に別々の道を歩みましたが、卒業後も交友を続けさせて頂きました。金森君は小学校の頃から秀才で頭の良さは抜群でした。ご本人の希望通り理学部に進まれ、非常に若くして教授に、そして阪大の総長に昇りつめられました。我々17年卒業の誇りでもあり、また学者には珍しくと言つては失礼ですが、いつもにこにこ笑顔をやさしく誰とでも気軽に付き合つてくれる人柄から人気は抜群でした。こんなに早くお別れしなければならぬとは無想定にしませんでした。本当に残念です。

今はただ、安らかにやすみ下さいと祈りますのみです。合掌 柴田 稔(昭和17年卒 難松会元副会長)

また、ご遺徳を偲び、故金森順次郎先生追悼講演会並びにメモリアルパーティーが、3月1日(金)リガロイアルホテルにて行われました。

追悼 金森君は小学校の頃から秀才で頭の良さは抜群でした。ご本人の希望通り理学部に進まれ、非常に若くして教授に、そして阪大の総長に昇りつめられました。我々17年卒業の誇りでもあり、また学者には珍しくと言つては失礼ですが、いつもにこにこ笑顔をやさしく誰とでも気軽に付き合つてくれる人柄から人気は抜群でした。こんなに早くお別れしなければならぬとは無想定にしませんでした。本当に残念です。

平成17年卒 中村 仁美 毎年参加させていただいておりました難松ジュニア会も今年で最後かと思つと少々さびしくなります。来年度からは、新成人として総会・懇親会に参加できればうれしいです。

昭和23年卒 古市 涼香 大阪教育大学附属天王寺 中学校に入学し、今はバレーボールクラブで皆なで力を合せてがんばっております。

- 略歴 昭和5年3月7日 出生 旧制大阪大学理学部物理学科卒業 昭和28年3月 大阪大学理学部助手 昭和32年4月 大阪大学理学部講師 昭和33年6月 大阪大学理学部教授(平成3年6月総長就任まで) 昭和40年5月 大阪大学理学部部長兼任(平成3年8月まで) 昭和56年4月 大阪大学総長(平成9年8月まで) 平成3年8月 大阪大学名誉教授 平成9年9月 財団法人国際高等研究所長(平成13年4月) 平成13年4月 逝去(82歳) 平成24年11月13日 逝去(82歳)

- 受賞 昭和37年1月 朝日賞(共同受賞) 受賞 昭和50年11月 山路ふみ子自然化学奨励学賞受賞 平成8年6月 日本学士院賞受賞 平成11年5月 本多記念賞受賞 平成11年6月 藤原賞受賞 平成12年9月 日本応用物理学会出版賞受賞 平成15年1月 講書始めて天皇陛下にご進講 平成24年11月13日 従三位に叙される

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

- 特別会員 灰山 徳子先生(旧姓島原) 会報熟読させて頂いていただきありがとうございました。ご苦労様でございますが、楽しみにしておりますので、よろしくお祈りいたします。 昭和8年卒 衣笠 綾 皆様のお便りを拝見して御活躍に今更乍ら感動いたしました。そして元氣も貰いました。本当に物凄く卒業生の皆様有難うございました。今後の御活躍をお祈りしております。 昭和10年卒 岩井 雛子 いつもお世話になり有り難うございます。今年90才になりますが、何とか無事に北国の雪を楽しませて貰っています。皆様の御健康をお祈り致します。 昭和11年卒 小杉 桂二 私の拙文を掲載して頂きありがとうございます。その後元氣で励んでいきます。貴会の御発展をお祈り致して居ります。 昭和11年卒 大西 英子(旧姓福井) 米寿を越えました。あの学校で学んだ」という共通の思い出を今も大切にしながら、電話で旧交を温めあつております。 昭和13年卒 牧田 葉子 継続34年目の筆と美しい日本の歌によるチャリティコンサートを1月28日、開催させて頂きました。東日本大震災の遺児達のために建設の東北レインボーハウス(仙台)に寄付させて頂いたこと、これからも毎日、ボランティアを励みます。 昭和15年卒 岩山 久子(旧姓石田) 難松第43号の書き込みで、同窓生の方が、私の職場(ドラッグストア)の近くにお住まいとの事で面会に来て下さつて超うれしかったです。 昭和17年卒 長谷川 貞子(旧姓前田) 昨年一三〇周年記念に立派な会場で参加させて頂きました。感謝いたして居ります。色々お世話に成りまして有難うございました。いい方々との出会いと健康に感謝の日々を送らせて頂きたいと思つております。 昭和18年卒 野村 道一 昭和36年卒 富田 宗一 昨年3月末に30数年勤めたシャープ(株)を退職し、自身の会社(株)マイタムを設立しました。 昭和36年卒 柳原 孝史 同期の西川雅夫君が難松会の会長に就任しました。難松会の益々の発展の為に微力ながら出来る限り協力しようと思ひます。 昭和37年卒 榎根 妙(旧姓山田) 大阪教育大とは縁があるのか、現在、大阪教育大二部校(天王寺校)に間借りをしています。放送大学大阪学習センターに通っています。映画が、シニア料金で見られる様になり、うれしいのやら、かなしいのやらという心境の日頃です。 昭和39年卒 大井 岑子(旧姓荒木) 来春の集いに伺えます様折っております。八十路越えを何とか暮すべく、日々を過ごしております。 昭和41年卒 丹羽 弘子 私達の同期会も成田先生のもと、毎年集つていますが、昨年終りとなり少し寂しくなりました。時々、旧友達と会う機会を持ちたいと思つています。 昭和48年卒 宮崎 真紀子(旧姓勇村) 昨年、主人の転勤に伴い福岡に引越してきました。噂通り住みやすい街です。秋田君や鈴木さん(スキ)の近況報告をなつかしく読ませていただきました。 昭和53年卒 永岡 俊哉 平成24年4月に19年間勤めた山口朝日放送を退職し、羽衣国際大学准教授に就任しました。マスクを自指す学生にアナウンスを教えております。 昭和62年卒 藤田 哉(旧姓大塚) 福岡に来て8年。今春小学生になる娘とやんちゃな2才の息子。毎日、ドタバ

「難松」のご送付、有難うございます。130周年の記念総会のご成功をおよろご申し上げます。しかし、その片隅にある先輩諸先生方の訃報を知り、数々の想い出と共に悲しみがこみ上げます。 昨秋、87期生に続き、93期生のスイス南海ホテルでの同窓会にお誘いを受けましたが、卒業生の皆様が社会の中枢で活躍されていることを知り、この上ない喜びと共に教師冥利につきる思いに浸らせていただきました。 木下先生、奥野先生、田中先生方もお元氣で出席され、話題が先日のこの様に思い出され、話が尽きず本当に楽しいひと時を過ごさせて頂きました。卒業生皆々様の今後益々のご発展を祈願します。

平成24年度 年会費納入者氏名 (平成25年1月末現在・敬称略)

特別賛助会員 山本 暉郎・関根 道彦・辻本 節子・曾川 敏彦・安田 美津子・西川 雅夫・吉村 計三・木下 吉信・菊田 吉紘・西村 泰彦・上尾 礼子

賛助会員 岩井 雛子・大西 英子・柴田 稔・柴谷 一慶・柴田 俊治・岩田 由孝・則末 栄巳・北沢 一記・岸本 泰廣・秋田 光彦・秋田 光哉・石井 聖加・長澤 亮太

大正15年卒 佐藤 美紗子

昭和6年卒 和泉 國夫・竹内 幸男

昭和7年卒 大野 敏夫

昭和8年卒 衣笠 綾

昭和10年卒 川村 太郎・後藤 寛・岩井 雛子

昭和11年卒 斧原 幸子・小杉 桂二・左藤 恵・大西 英子・山田 本子

昭和12年卒 高折 忠太・山本 暉郎・松島 永之助・小川 定一・堀田 朝子・鷺尾 和子・大道 喜久代

昭和13年卒 坂本 成男・岩崎 悦子・佐用 淳子・倉智 園子・牧田 葉子・伊豆野 和子

昭和14年卒 大塚 義博・永田 文夫・前田 実・井上 皆子・菊池 富美子・仲西 美子・坂部 馨子・南 司

昭和15年卒 加藤 光二・吉松 昌子・岩山 久子・上田 富美子・鈴木 洋子

昭和16年卒 勝又 朝昭・庭山 昭・保呂 和彦・門戸 良太郎・奥川 章子・田中 紗智子・山崎 典子・永田 俊子・田辺 悠紀子・堀 春子・神田 悦子・武岡 慶三

昭和17年卒 長谷川 貞子・茨木 修・金森 順次郎・黒田 節彦・里井 伸作・柴田 稔・柴谷 一慶・関根 道彦・中西 妙子・松井 幸子

昭和18年卒 伊藤 欣一・久貴 忠彦・柴田 俊治・田村 新十郎・長野 秀保・川内 美江子・川俣 裕子・菊野 妙子・長尾 裕子・近藤 光・野村 道一

昭和19年卒 岩田 由孝・荻巣 一郎・尾形 丈二・清原 勲・齋藤 尚・塘 二郎・本間 琢也・森川 五郎・大井 岑子・堀田 節子・加納 純子・宮地 美都子・高久 美也子・中川 操・横山 清恵子

昭和20年卒 辻元 一郎・本郷 二郎・野島 精二・高木 礼子・岩田 博一

昭和21年卒 水野 総・出口 滋子・西村 友子・小川 やす子・渡邊 昌子・丹羽 弘子

昭和22年卒 浦谷 佳邦・瓜原 一敷・福岡 美彦・三宅 正彦・山田 誠禧・浅村 喜代子・師岡 織枝・石原 さよ子

昭和23年卒 五影 雄三・荻巣 史恭・佐野川谷 保昌・山添 高子・山口 玲子・小宮山 美美子・豊田 光子・禰 幸子・田村 依久子・打垣内 恵子・関 淳一・荒井 三依・峯川 啓・青木 慶子

昭和24年卒 松並 孝雄・河島 彦明・深井 喜美子・白川 知子・辻本 節子

昭和25年卒 岩田 由孝・国東 雅郎・杉本 欣三郎・野村 昌弘・三野 四郎・森 莊太郎・水口 幸子・上野 恭子・安達 幸子・三木 愛子・寺田 尚子・中林 昌子・高千穂 和子

昭和26年卒 城戸 義雄・森野 信幸・中井 紅弥・高橋 仁子・小枝 征子・栗谷 恭三・松井 精朗

昭和28年卒 岡島 義之・楠瀬 暉・西田 允俊・山田 正夫・鈴木 美重・樫本 恵美子・富田 和恵・植松 睦子・乾 篤弘・奥村 博亮・名村 建彦・南 肇・吉田 耕・南 左起子・梅村 康順

昭和29年卒 辰野 克彦・大賀 瑩智子・則末 栄巳・吉田 裕計・奥尾 三紗子

昭和30年卒 葛井 久雄・岸本 光正・坂田 寿衛・田川 和子・井上 薫・石本 巖・岡田 範子・吉田 和枝

昭和31年卒 内藤 雅敏・藤本 圭一・北野 公造・銭高 一善・曲田 秀男・山根 勇・湯浅 楠次郎・森 那都子・浅井 勝弥・武田 勝年・松田 嘉子・石田 百合子

昭和32年卒 飯田 寛・北沢 一記・小山 彪・塩崎 はるみ・安田 美津子・新田 長彦・海野 勝利

昭和33年卒 柏 道博・糸原 和子

昭和34年卒 大江 康昭・大塚 正・小西 克彦・佐々木 義之・岸本 泰廣・中川 忠彦・並川 俊一郎・山内 良介・山中 邦子・前西 孝夫・宮原 孝雄・河野 通子

昭和35年卒 葛村 安良・中尾 哲・中嶋 美恵子・里村 裕・住野 公一

昭和36年卒 河合 権隆・三上 修司・土屋 徳子・有岡 雅行・西川 雅夫・米津 精文・伊藤 泰子・曲田 誠克・宮田 宗一

昭和37年卒 岸本 隆宣・宮前 雅明・吉川 建夫・淀井 省三・藤元 美和子・宮本 恵子・樫根 妙・中野 佳則・三上 裕司

昭和38年卒 花房 俊昭・石谷 隆子・大西 良和・尾花 俊作・角谷 景司・宮浦 徹・西願 真佐子・神波 美由喜

昭和39年卒 酒井 一雄・深川 信・牧浦 信一・佐伯 英隆・辰野 守彦・曲田 勝紀・吉川 善兼・田中 倫・松嶋 由美子

昭和40年卒 江田 昌平・北尻 雅則・白江 淳郎・村田 秀穂・川瀬 夕起子・山本 佳世子・生駒 昌夫・若山 宏

昭和41年卒 松尾 厚・駒田 一彦・林 哲也・吉村 盛善・塚原 保子・三上 淑子

昭和42年卒 永原 寛夫・谷 玄康・山野 正博・吉村 計三・山野 じおり

昭和43年卒 坂中 良郎・山口 英行・菅尾 光子・覆並 美江子・中出 安子・秋田 光彦

昭和44年卒 塩田 充・関本 力・中島 哲彦・北村 篤・阪口 圭一

昭和45年卒 菊岡 正博・中山 博文・若山 由紀子・浅野 隆司・柳野 博之・大石 茜依子・岩田 以津子・奥村 玲子・森川 祐子・前田 博子

昭和46年卒 浅野 知一郎・市川 澄子・浦川 信司・中出 雅治

昭和47年卒 前田 健治・柳本 邦雄・渡邊 綾子・浜田 優子・鈴木 暁子・生造 慎・宮地 義幸・伊丹 美・寺川 慶子・佐伯 佳世子・小橋 肇子

昭和48年卒 秋田 光哉・浅野 英一郎・伊藤 康弘・宮内 晃・浦川 正人・紺田 益寛・野崎 知子・宮本 知子・原 勲

昭和49年卒 笹井 教夫・森村 正嗣・光實 与子・西垣外 晃徳・木下 吉信・浜田 顕・内海 信子

昭和51年卒 中島 徹・浜田 康・藤田 浩史・村上 誠爾・菊田 吉紘・川名 あかね・内田 洋子・平田 育子

昭和52年卒 井上 剛・太田 祥彦・谷口 禎英・多屋 貞一・服部 浩治・村上 正昭

昭和53年卒 徳井 幹也・永岡 俊哉・福田 昌史・柳原 順代・赤尾 滋樹・江村 成就・貫戸 淳也・塚瀬 永井・義隆・石川 孝子・大江 晃弘・仲谷 宗裕・西村 泰彦・宮 浩久

昭和54年卒 川本 雅行・島野 泰三・池田 希与子・小高 恵・巽 宣夫・大石 賀美・櫻井 忠孝

昭和55年卒 安達 剛・太田 今子・大橋 史子・津村 一也・藤井 茂彦・田中 玲子・和島 伸幸

昭和56年卒 江口 文香・上尾 礼子・石井 正子

昭和57年卒 福井 章

昭和58年卒 岩井 孝一・首藤 久美・重野 貴宣

昭和59年卒 眞鍋 晃鷹

昭和60年卒 宮本 紀雪・井後 登史子・桑村 歩

昭和61年卒 磯橋 文朗・奥野 健太郎・谷崎 貴士・池田 達昭・植田 勝也・高井 智宏・中桐 伴行・上田 康生・森川 宏樹・安田 幸嗣・藤田 晶子

昭和62年卒 石井 英・嶋崎 晃資・桑村 光

昭和63年卒 水野 克彦・中川 知子・小南 安輝・澤 裕嗣・島田 尚往・竹野 元二・勝村 五津子・松井 久恵

平成元年卒 上田 順宏・坂田 尚英・曲田 紀子・安田 正治・良峰 正雄・松本 絵美・中川 忠俊

平成2年卒 渡部 有香・三上 典子・砂田 和美・小野 響子

平成3年卒 中川 隆資・東 大里・菊澤 明

平成4年卒 市原 孝浩・瀧藤 尊子

平成5年卒 太田 哲郎・澤 雄大・竹野 悠佳・錦織 有史・深尾 大輔・稲田 瑞穂・曲田 智美

平成6年卒 新堂 昌宏・木村 敦子・石丸 淑恵

平成7年卒 井澤 良介・瀧藤 順聖・中嶋 平治・橋本 勝一・菅尾 有紀子・江原 正洋・神田 蘭香・左藤 倫子

平成8年卒 稲田 有華・加藤 明俊・神田 琴智・林 ひとみ

平成9年卒 橋本 佳奈・前原 祐子・稲田 寛輝・神田 剛輝・南野 久美子

平成10年卒 菅尾 英佑・竹岩 俊彦・津久井 良昌・中尾 一浩・林 浩也・白江 恭子

平成11年卒 新堂 依子・竹林 由浩・田淵 彩華・伊丹 高顕・佐伯 厚記・三木 雅史・中原 麻帆

平成12年卒 松浦 文彦・橋本 祐・平木 秀輔・川崎 澄・南野 太志

平成14年卒 藤井 恭太郎・乾 侑・佐伯 藍・白江 素子・中村 晶子・奥村 哲也・藤本 晃一郎

平成15年卒 高倉 亮・金江 蓉乃・韓 新熙・中村 健佑・藤谷 健太郎・赤澤 美帆・奥村 桃子・土井 裕子・石近 亮介・門上 由佳・柴田 美帆子

平成16年卒 市村 彰祥・岩崎 孝規・久保 宏樹・村上 喜彦・渡邊 真隆・川崎 翠・柴田 恭子・白江 倫子・岡田 大志・尾松 由茄・芥子 和史・松本 祐輝

平成17年卒 梶 裕貴・韓 昇熙・梶谷 美里・富田 崇史・平野 全紀・浅岡 美樹・大内 麻央・大方 美・大谷 真貴子・芝野 加奈子・中村 仁美・原谷 綾・岸田 達広・新海 郁馬・廣田 吉満・松井 元哉・畠中 亮香・水野 那奈子・山本 櫻子

平成18年卒 黒野 義満・田川 碩生・宮本 典明・平田 充代・増田 咲生子・岡部 友香・九鬼 ゆり・野崎 由夏・羽藤 沙恵・細田 佳奈子・門上 侑生・韓 美紀・後藤 有香・櫻井 孝子

平成19年卒 木岡 寛平・角田 武也・住吉 裕太・寺田 有一郎・森田 剛史・金高 霞・巽 明穂・井上 慶久・今村 正秀・北川 裕也・福田 裕一郎・源優樹・宮 智成・朝海 遥華・石川 尚子・奥村 晃子・秋岡 正史・池田 雄亮・岩崎 大智・中務 勝等・水野 尚未・石川 小百合・柿迫 利香

平成20年卒 赤澤 慶人・大内 康平・上森 瑞生・川邊 直幸・北岸 友和・小杉 悠貴・後藤 陽亮・田中 優成・時秀 一嘉・大柳 恵・酒井 伽奈・坂本 真優・三島 奈都美・井上 寛之・大野 純生・南野 皓亮・山本 達郎・大塚 菜生・小川 詩織・喜多尾 衣莉・九鬼 るり・佐原 秀美・佐原 芳美・鈴木 諒子・中澤 杏咲・西村 伊代・梅田 侑生・高濱 斗貴那・辻村 拓也・西岡 拓哉・樺木 隆太・日野 太貴・正木 大智・松本 恭輝・安田 和徳・勝岡 愛・塩見 幹菜・清水 野々香・中川 真緒・西川 茉那・松井 瞳

平成21年卒 植村 一貴・天下 諒・坂下 陽平・澤田 統・中野 銀次郎・山本 隼輔・大西 真理彩・加藤 江伶菜・佐藤 瑞姫・三井 紗智子・宮崎 西・中井 賢太郎・中野 健人・橋本 拓真・村井 拓斗・岸田 寛子・野崎 真由・福井 真衣果・桃田 あおい・崎原 盛偉・丸橋 正宣・天津 優紀恵・石井 崎阿

平成22年卒 北林 勇氣・芝田 大輝・永田 陸・西村 夏彦・村岡 裕太・村田 裕太郎・米田 満陽・上西 嘉乃・小田 望琴・木岡 眞衣・久保 幸穂・西岡 優衣・西崎 望子・坂東 真衣・橋本 瑛美・和島 陽菜・三田 雄大・杉岡 純平・中川 武大・安田 賢次・石川 万奈恵・倉本 萌・宅間 智也・細川 瑞貴・本城 理奈・松倉 裕理華・村田 紉野・龍後 奈々・岩崎 哲央・奥村 亮祐・田中 智章・西岡 孝太・橋本 勇志・光瀬 峻介・村田 陸・石井 詩子・菅井 彩香・瀬川 こころ・中西 純花・吉田 映紀

平成23年卒 石川 裕貴・井上 才富・大西 八雲・加藤 智己・熊谷 幹音・駒尺 翼也・篠原 蓮・中尾 康太・長澤 亮太・樺本 智士・渡邊 佑喜・藤美 暁子・石田 理子・北口 千華・田中 結梨・浜村 結菜・古市 涼香・石田 耕平・三方 玲路・水野 智裕・小川 寛加・鹿野 祐加・川元 萌・呉松 里紗・清水 明日香・西坂 有紗・三島 佳奈子・村田 結海・井上 貴裕・大橋 俊紀・野田 伊穂理・羽田 敏彦・森村 太貴・乾 菜緒子・越智 純香・川本 ひかる・小松 史佳・七里 愛・山本 悠布・横田 佳敏里

平成24年卒 全員

◎平成24年度も多くの方々から年会費を納入していただきました。感謝申し上げます。 ◎事務処理上、誤り・脱落もあるかと思ひます。お気付きの方は雑松会事務局までFAXにてご連絡ください。(FAX 06-6771-6116) ◎平成25年度の会費は別記のようになっております。重ねてご協力をお願いします。

雑松会会計平成23年度収支計算書

平成23年4月1日～平成24年3月31日 会計幹事 赤尾 淑樹

Table with columns for category (e.g., 年会費・賛助会費), amount, and details. It shows income and expenses for the fiscal year 2023.

監査 岡本 明剛

平成25年度年会費について

- 同封の払込用紙をご利用下さい。 ●30才以上の正会員の方は3,000円です。 ●30才未満の正会員の方は2,000円です。 ●ご協力をお願いいただけます方には、賛助会費・特別賛助会費を設けております。よろしくお願ひいたします。 ●賛助会費は5,000円、特別賛助会費は10,000円です。 ●平成24年度卒(平成25年3月卒)の方は全員の年会費を別途いただきますので、払い込みは不要です。 ●同封の年会費払込用紙には、会員番号が印字されていますので、ご確認下さい。(氏名右下バーコード横の7桁の数字)

〇〇〇—〇〇—〇〇 (例、昭和50年卒6年3組40番の方) 明治-1 卒業年 クラス 出席番号 350-03-40

●通信欄に近況報告等をお書き下さい。会報次号でご紹介します。 郵便振替 大阪 00960-2-27966 雑松会宛

雑松会会員名簿 第13版(平成24年版) 昨年11月発行

※同封の名簿用 払込用紙にてお申し込み下さい。